

## 研究の概要 (オプトアウト公開用)

西暦 2024 年 12 月 1 日

臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明のうえ同意を取得して実施をします。臨床研究のうち、研究対象者等（患者さん等）への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究や、余った検体のみを用いるような研究については、国が定めた指針に基づき、研究対象者等のお一人ずつから、必ずしも直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。このような手法を「オプトアウト」と言います。

本研究への協力を希望されない場合あるいはお問い合わせは、下記の担当者までご連絡ください。

審査課題名	凍結胚の融解方法の違いによる胚盤胞および透明帯の状態変化の検証
実施責任者	医師部門 江夏徳寿
研究代表者	医師部門 江夏徳寿
研究対象者	当院にて体外受精、顕微授精を実施し、胚盤胞培養を行う患者
研究期間	2024 年 12 月 1 日～2025 年 6 月 1 日
研究目的・方法	近年急速に普及している 1 ステップ融解法による胚への影響、および透明帯への影響を観察することによって、1 ステップ融解が臨床上安全に使用できるかどうかを検証する。また、1 ステップ融解法において凍結時の人工収縮補助 (artificial shrinkage) や融解時の補助孵化療法 (assisted hatching) が必須であるかどうかを確認する。
研究に用いられる試料・情報	当院にて体外受精、顕微授精を実施し、胚盤胞培養を行った受精卵のうち、凍結規準に合致しないなどの理由で破棄となった破棄胚
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を特定できる個人情報は削除いたします。また研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際にも患者様を特定できる情報は含まれません。その他当院の個人情報保護方針に則り取り扱います。

お問い合わせ先	英ウィメンズクリニック 倫理委員会事務局担当 山本健児 電話 : 078-392-8716
---------	---